

サイエンスカフェの御案内

日 時 : 平成29年3月31日(金) 19:00~20:30

場 所 : 日本学術会議6階6-A(1)(2)会議室

東京都港区六本木7-22-34

主 催 : 日本学術会議

テ ー マ : 軍事と科学の急接近をどう考えるか

講 師 : 池内 了さん(名古屋大学名誉教授)

ファシリテーター: 須藤 靖さん(日本学術会議会員、東京大学理学系研究科教授)

内 容 :

日本学術会議は、戦前・戦中において科学が軍事に利用されたことを反省して、1950年の第6回総会、そして1967年の第49回総会において、戦争には協力しない旨の声明を表明してきました。日本の学術界を代表する日本学術会議が戦争協力を拒否する姿勢を明らかにしてきたことから、日本においては公然たる軍事研究は行われなかったのです。これは世界でも稀なことで、憲法の平和主義を学術の場においても体現してきたと言えるでしょう。

しかし、2015年に防衛省が「防衛装備品」の開発のためとして委託研究制度である「安全保障技術研究推進制度」を創設したことから、状況が大きく変化することになりました。大学・研究機関・企業の研究者が公的に軍事研究に携わる道を開いたのです。措置された予算は2015年には3億円、16年には6億円、そして17年度にはなんと110億円にもなる見込みです。

日本学術会議は検討委員会を設けて議論をしていますが、デュアルユースである、研究費不足だからやむを得ない、防衛のための軍事協力なら許容される、などの意見も出されており、1月中旬の現時点ではまだ結論は出ていません。

さて、この問題をどう考えるべきなのでしょう？軍事と科学が急接近する現在の状況について率直な意見交換ができれば、と考えています。



【参加方法】

事前申し込みでの受付となります。

「氏名」及び「3月31日サイエンスカフェ参加希望」と書いたEメールを kadaibetu-scj@cao.go.jp までに **3月14日(火)まで**にお送り下さい

【参加費】 無料 【定員】 30名

【アクセス】

千代田線「乃木坂駅」5番出口 徒歩1分

<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>